

マテリアリティ(重要課題)とKPI

「マテリアリティ」とは、幅広いCSR活動の中から企業が注力すべき課題を特定したものです。リンテックグループでは2014年にマテリアリティを特定しましたが、変化し続ける社会課題を踏まえ、また日々ステークホルダーとの対話を重ねながら、マテリアリティのテーマの見直しを行いました。新しいマテリアリティには、2021年4月より

スタートした長期ビジョン「LINTEC SUSTAINABILITY VISION 2030」やSDGsの視点などを盛り込み、主要な評価指標(KPI)*1を定めました。新たに特定したマテリアリティのテーマに特に注力し、リンテックグループとして活動を推進していきます。

	マテリアリティ	マテリアリティに対するリスク	マテリアリティに対する機会
事業全体	事業面での貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 原材料調達・物流面のリスク ● 技術革新の遅れによる事業機会の損失 	<ul style="list-style-type: none"> ● コスト削減を追求した革新的新規生産設備の導入および新製法による新製品の創出 ● 技術革新による新製品・新事業の創出および事業の多角化 ● DXによる研究開発効率、確度および検査体制技術などの向上
環境	持続可能な地球環境への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境対応投資コストの増大 ● 化学薬品、石化原材料などへの高依存度によるコストを含めた調達への影響 ● 環境関連規制の強化による使用できる原材料の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電力など、外部に依存しないスマートファクトリーの構築 ● 環境配慮製品・サービスの提供による市場拡大 ● 石化原材料からバイオマス材料などへの転換 ● 代替品の模索・転換の加速、独自レシピ原材料の開発促進 ● ポジティブリスト収載の原材料による製品開発
社会	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ● サプライチェーン上での人権配慮の問題による事業の停止、金銭補償などの発生 ● 優秀なグローバル人材確保機会の損失および流出 ● 労働生産性の低下や人材の流出 	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業文化の浸透による、従業員が持続可能な社会の実現に貢献していることの自覚や認識の増進 ● 安心・安全な職場環境の実現による従業員の意欲向上 ● 多様な人材による多角的な事業判断
	バリューチェーンマネジメントの向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 適切な品質管理の欠如による顧客の信用失墜 	<ul style="list-style-type: none"> ● 適切な情報把握や体制構築による安心・安全な事業活動
	ステークホルダーとのコミュニケーション強化	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニケーション不足による地域コミュニティの信用低下 ● 情報開示に対する誠実性不足による企業評価低下(レピュテーションリスク) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域社会との共存共栄 ● ステークホルダーが意識している課題の事業活動への反映
ガバナンス	グループ全体のガバナンスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営の客観的視点に基づく判断欠如による事業への影響 ● 海外グループ会社のガバナンス不備による企業活動への影響 ● コンプライアンス違反による企業価値の毀損 	<ul style="list-style-type: none"> ● 適切な経営判断による事業拡大 ● 内部統制システムの向上による不法、不正、不当行為の未然防止 ● ステークホルダーの信頼性や満足度向上

*1 主要な評価指標(KPI)：Key Performance Indicator。目的に対する達成具合を定量的に計るために設定された組織の戦略に関わる重要な指標。

マテリアリティの見直しプロセス★



取り組む課題	KPI	関連するSDGs
	主要項目	
<ul style="list-style-type: none"> ● イノベーションによる企業体質の強靱化 ● 持続的成長に向けた新製品・新事業の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ● 開発品売上比率（20%、2030年） ● 特許出願・保有特許件数 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動への対応 ● 循環型社会の実現 ● 持続可能な原材料調達 ● 生物多様性の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ● CO₂排出量削減 ● 埋立比率 ● 原材料取引先アンケート回答率 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 人権デューデリジェンス ● 労働安全衛生への対応 ● ダイバーシティの推進 ● 働き方改革の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● ハラスメント相談件数 ● 労働災害度数率 ● 労働災害強度率 ● 女性従業員比率 ● 男性の育児休業取得率 	
<ul style="list-style-type: none"> ● お客様第一主義の徹底 ● 品質、コスト、顧客満足度の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● CSR調査の対応数 ● 品質事故件数比率 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域コミュニティとの共生 	<ul style="list-style-type: none"> ● 見学受入件数 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 組織統治 ● 公正な事業活動 	<ul style="list-style-type: none"> ● 取締役会出席率 ● 監査等委員会出席率 ● リーガルニュースの定期発行 	

*2 ESG：→P 01に記載。